

1. 役員

役員の名前は省略します。

2. 活動報告

(1) (H19.8.19) 第 1 回幹事会開催

- 管理組合より 2 名の役員（森山理事、三須理事）が参加され、10 名の役員で審議
- 9 月開催予定の「防災訓練」については、9 月 30 日開催で計画。
訓練内容は、以下の 3 項目とした。
 1. 初期消火訓練（粉末式消火器＋水式消火器）
 - *2. 天ぷら鍋火災消火訓練（エアゾール式消火剤）
 3. 緊急通報（119 番）訓練
 - ※ 2. の天ぷら鍋火災消火訓練は、消防署にて訓練詳細の打合せ（8/25）時に、「危険を伴うことと、環境への影響から消防署として現在推奨していない」というアドバイスを受け、取りやめることとした。
- 管理組合規約改正に伴う「自主防災会と管理組合防災委員会」との統合問題について問題点の洗い出しを行った。※防災委員会の運営規則の審議経過を待つ。

(2) (H19.9.8) 理事会との協議会開催

- 管理組合理事長の要請で開催。理事長以下、防災担当理事 2 名と、自主防災会から粕谷会長ほか 2 名の幹事が出席して協議を行った。
- 協議内容は、8 月 19 日に行った幹事会の審議内容説明。
- 9 月 30 日の防災訓練における「理事会として協力できる事項」の確認。
- 統合問題に関して、今後も意見を交換しながら協議していくことの確認のほか、他団地管理組合へ「組合傘下の防災組織に関する文書」の提供を求めることを確認した。
- ベランダ隔壁版の破壊テストについて、出来るだけ早い時期に実施できるよう理事会で、検討することとなる。
9/24、理事会より 9/30 の防災訓練に合わせて実施可能との連絡あり、急遽、防災訓練項目に追加する掲示ビラを各棟の階段室掲示板で広報した。

(3) (H19.9.30) 防災訓練（雨天中止）

- 予定していた「初期消火訓練」、「緊急通報（119 番）訓練」などの防災訓練は、降雨のため午前 8 時に中止を決定。直ちに消防署に連絡して職員派遣の中止を申し入れた。
- 理事会と合同で行う予定だった「ベランダ隔壁板破壊体験」については、理事長ならびに理事会側防災担当理事と協議の上、今回は実施を見送ることとした。

(4) (H19.11.23) 第 2 回幹事会開催（町内会と合同）

12 月の防災訓練（餅つき大会兼炊き出し訓練）について

1. 期日は 12 月 16 日（日）午前 10 時から と決定。
 2. 訓練項目は、炊き出し（200 人分の雑煮）、給食配膳とする
 3. 非常用炊き出し袋を使った炊飯訓練（印西市所有の大鍋煮炊きレンジを借用）
- 管理組合理事会より、規約改正に伴う「防災委員会」の運営規則について早急に取りまとめ、自主防災会との統合に向けた協議に入りたい旨申し入れ意があり、参考として、他団地の「管理組合-防災組織」に関する資料コピーが配布される。
まずは理事会での素案作成のための“タタキ台”作りとして、理事会、自主防災会関係の有志による「仮称：規則検討会」として、具体的に話を進めて行くことになる。

(5) (H19.12.9) 町内会との打ち合わせ

12月16日の防災訓練（餅つき大会兼炊き出し訓練）担当者確認

1. 前日の準備（資機材、食材調達）担当者
2. 当日の担当（炊き出し班、調理・配膳班、参加者確認班）
3. 訓練終了後の会場撤収作業内容を確認。

(6) (H19.12.16) 平成19年度防災訓練（炊き出し訓練）実施

実施計画（巻末添付）に基づき、資機材の設営並びに炊き出し訓練を実施。

訓練の実施に当って、担当者の任務と安全管理に努めた。

参加者数は、受付で記帳された名簿リストから220名であった。

訓練の結果報告は、巻末に添付した報告書をご参照ください。

(7) (H20.3.2) 第3回幹事会開催。

総会議案書案（19年度活動内容と収支結果、自主防災会解団議案）を審議

管理組合「防災委員会」運営規則検討会の進捗経過と報告

総会期日を、6月8日と決定。

(8) (H20.3.30) 管理組合理事会と合同による防災資機材の点検実施

- 幹事会役員（2名参加）管理組合所有の防災資機材の内、防災会が貸与を受けている機材について、管理組合理事会（理事2名出席）と合同で数量や保管状況などを点検確認し。一部欠品のあった「救急常備薬」を除いて、その他の資機材の員数、稼働点検で異常なし。

3. 広報活動

町内会発行される「町内会広報紙」の紙面を通じて防災関連の広報活動をしました。

- 4月号（5/20開催の総会案内）
 - 5月号（総会報告）
 - 8月号と9月号（9/30開催の防災訓練案内）
 - 12月号（12/16開催の防災訓練－炊き出し訓練－の参加呼びかけ）
- H20.4月号にて、総会期日を6/8にすることを知らせた。

次ページに、平成19年度防災訓練（炊き出し訓練）の実施計画と報告書を添付します

平成 19 年度 高花 4 丁目自主防災会 防災訓練実施計画

1. 目的

高花4丁目自主防災会は、災害発生時に迅速かつ的確に給水給食活動が行動できるよう器具の取り扱いやテント設営の段取り、非常用炊き出し袋による炊飯訓練などを修練し、防災意識の高揚を図るとともに、住民相互の連帯と親睦増進を図る餅つき大会で、「炊き出し訓練」を行います。

2. 日時

平成19年12月16日 午前8:30～12時まで

3. 場所

高花第二団地・集会所前広場

4. スケジュール

- 8:30～** 炊き出し訓練班は集会所に集合。管理者および担当作業の確認。
市防災器材（組立て式煮炊きレンジ）の搬出、カマド設置と燃料（薪）の準備、炊飯作業開始（餅米は50kg、炊飯米は4kgを予定）
*餅米は、前日に役員が洗米準備したものを使用。炊飯用米は市販のポリ袋詰めから直接、炊き出し袋（市販の1食分用袋に小分けして沸騰水の中で炊飯）
雑煮用具材の下拵え、加熱器具（プロパンガスレンジ）の設置と、調理作業開始（200食分を予定）
テント設営班（1班6人体制）は、防災倉庫からテントを3張り引き出し、指定場所に設営する。
- 10:00～11:00【訓練参加者受付と炊飯・給食配膳作業開始】**
炊飯は出来上がり次第、参加者に呼びかけて試食してもらい、順次小袋に次の炊き出し袋詰めをしてもらう。
- 11:00～** 炊飯完了次第、餅つき作業（町内会担当）に移行し、搗きあがった餅を雑煮と絡め餅に分け、配膳用テントから給水給食班が参加者に配膳開始。
- 12:00～** 作業班全員で会場撤収作業を行なって訓練を終了。

5. 実施要領

5・1 炊き出し訓練

a) 概要

- ア. 炊き出し用のカマドとお釜(3基)は、周辺に危険のない箇所を選んで設置する。
イ. 燃料は、プロパンガスとコンロを使用する。（一部は薪による）
ウ. 炊飯は、餅つき大会を兼ねていることから前日米研ぎされている餅米を、カマドの蒸籠に移して蒸し揚げる作業までとする。
エ. 蒸し揚った餅米を餅にする「餅つき作業」は、町内会担当とする。
オ. 市から借用した「組立て式煮炊きレンジ」の点火と、火力調整および、高温水によるヤケドなどが生じないように、管理者を1名配置する。
カ. 炊飯用の炊き出し小袋には、最初の10袋は幹事が準備するが、以降の袋詰めは炊き出し炊飯を試食した参加者に1袋ずつ詰めてもらう。

b) 調理作業（給水給食班）

- ア. 調理に使用する包丁・まな板などは、炊き出し班参加者が持参する。
イ. 調理用コンロは、プロパンガス業者から借用する。
ウ. 調理用鍋類は、町内会所有のものをを用いる。

c) 配膳作業

- ア. 所定テント内に町内会所有のテーブルを配し、参加者が持参した容器と箸を使って、訓練参加者に餅と調理品を配食する。(一部、容器と箸を町内会で準備)
- イ. 配膳は、予め氏名を受付で確認した参加者をテント前に誘導し、整然と行なう。

6. 管理事項

- a) 訓練は、会長指示の基に自主防災会幹事が連携して整然と行なう。
- b) 炊き出し班担当者には、食品衛生管理に十分留意し、直接食品に手を触れる担当者は三角巾などで髪を束ね、エプロン掛けの着用を指導する。
- c) 炊き出し訓練では火気の安全を管理する「管理者」を特定し、安全管理を徹底する。
*管理者は、調理用プロパンガスおよびコンロ、薪燃えさしの安全な取扱いに留意する。
- d) 調理および配膳作業担当者は「指定腕章」を左腕に着用し、一般参加者との区分をする。
- e) 参加者の把握は、会場受付に設けた会員名簿で確認するほか、目印シールをつけて会員以外の参加者についても概数を把握する。

7. 事前打合せ会

今回の訓練に関する「幹事会事前打合せ会」を、**12月9日午前9時**より集会所で行なう。

【補則事項】

当防災会で所有する防災機材と、高花第二団地管理組合より貸与されている防災資機材も含めて、保管している資機材の点検作業については、来春の年度末までに管理組合(理事会)と立会日を協議して実施することにしていきます。

平成 19年 11月 23日

高花4丁目自主防災会
会長 粕谷 茂

平成 19 年度・防災訓練の実績報告 (平成 19 年 12 月 16 日実施)

事前打合せ：(12/9) 10:00～11:30

自主防災会幹事および組織協力者による実施計画の作業確認

前日作業：(12/15) 13:00～15:00

準備作業担当 10 名による「会場設定予備作業」を行なう

【資機材の搬出】 団地防災倉庫から炊き出し訓練に必要な資機材を搬出
市の防災倉庫（高花小学校）から「煮炊きレンジ」を搬出

【炊き出し準備】 燃料用の薪割り、雑煮用具材の下拵えなど

【当日の炊き出し訓練実施報告】

1. 会場準備作業(8:30 から 9:30)

実施計画（既提出済み）に基づく作業スケジュールに従って、午前 8:30 に会場に集結した準備班 25 名により、集会所前での会場設営作業を行った。

※「テント設営」は、計画では 3 幕を設営。「炊き出し用かまど」は、3 基設置。

「煮炊きレンジ」1 基を設置。

「かまど」には、責任者を決め、周辺には消火用バケツを配し、地面には常に水を撒いて置くことを指示し、レンジ付近には消火器を置いて、火気への万全を期した。



かまど設置と薪焚開始



煮炊きレンジのセッティング



テント設営



2. 調理・配膳準備作業(9:00～9:30)

12 名の調理・配膳班は、食の安全のため手洗い消毒を徹底した後、食器洗い、食材の仕込み、配膳器具洗浄や配置などを計画通りに行い、食品の配膳準備作業を整然と行なった。

3. 参加者の確認作業(10:00~11:30)

会場の一角に「受付」コーナーを設け、来場者に記帳(氏名と住所)をして貰い、記帳された人に「受付済み」を証するシールを貼らせてもらった。

(記帳参加者: 220名)



受付風景

4. 給食・配膳作業(10:00~11:30)

雑煮配食準備(高花4丁目町内会担当)は計画通り10時に完了。テント内に配置された「調理・配膳」担当班12名により、

整然と配膳作業が進められた。



配膳を待つ参加者



かまどによる炊出し訓練風景



会場風景

5. 煮炊きレンジによる炊き出し訓練(10:30~11:30)

- 1) 市から借用した「煮炊きレンジ」の組立て、取り扱い方を体験。
- 2) 炊き出しに供する「お米(4kg)」を、参加者に一袋ずつ詰めてもらい、炊き上がった「非常時炊き出しご飯」を試食して貰った。
- 3) 昨年まで手間取っていた点火作業や火力の調整も、今回はスムーズに展開でき、組み立てから正常燃焼まで15分間ほどで完遂できた。



非常時の炊出し訓練に参加する人々

※市より借用した「煮炊きレンジ」は、12/17(月)に防災倉庫に返却収納しました。

以上